

2023年度 豊橋技術科学大学同窓会 第2回役員会 議事録

日時：2023年6月26日（月）18:00～（オンライン会議）

議事録：小松

出席者（順不同，敬称略）：

若林会長，戸高（1系），稲田（2系），小松（2系），安永（2系），中村（情報メディア基盤センター），田村（3系），栗田（4系），瀧内（5系），蒲原（グローバルネットワーク推進センター），中尾（学外）

【配布資料】

- ・ご支援のお願い【ロボコン同好会】 “ABUロボコンに必要な資金の概算”

【議題】

1. ロボコン同好会へのABUロボコン参加に関する援助について

稲田先生より，ロボコン同好会からのABUロボコンに必要な資金の一部支援願いに關して説明があった。以下に，議論を項目ごとにまとめる。

1.1. ロボコン同好会からの資料及びロボコン同好会の現状について

- ・ロボコン同好会からの資料について，遠征費用や諸経費に關して不透明な部分が多いため，より詳細な費目書かれた根拠資料が必要である。また，遠征費や諸経費に対して，もう少し削減できるのではないか，という意見もあった。
- ・ロボットの高剛性化については，輸送時の衝撃に対してという面もあるが，現地の海外の会場の状態があまりよくないためでもある。
- ・昨年度は「ロボコン同好会世界大会（ABUロボコン）出場特別支援」という名目で50万円を支援している。なお，50万円であった理由は，昨年度はオンライン開催で現地への渡航・機材移送が不要だったため。また，今年度は学生課を通じて学生課外活動支援金により，ロボコン同好会には大学と同窓会から25万2000円の支援がすでに見込まれている。
- ・クラウドファンディングについては，大学を通じて企業に運用を頼んでいるとのこと。

1.2. 今年度の支援について

- ・大学の広報という観点で，今回のような個別で特別な事例は大学が支援すべきであり，同窓会としては広く公平に支援すべきである。また，資料に記載の大学基金からの支援についてはまだ不透明であり，大学側への詳細の確認が必要であり，6/28に開催予定の大学執行部との懇談会（出席者：若林，戸高，稲田）で現状確認を行う。
- ・今年度も支援するとしても，来年度以降は他の団体と不公平にならないためにも，新しい内規の作成が必要である。また，来年度以降，新しい支援制度の存在があることにより，学

生の課外活動がより活発になると思われる。

- ・ロボコン同好会に支援する代わりに、ホームカミングデーなどのイベントで協力してもらうのはどうか、という意見があった。ホームカミングデーのコンテンツに含めることができるかどうかについては卒業生連携室に確認が必要である。

1.3. 来年度以降定めるべき内規に関して

- ・国内大会での優勝や海外大会への出場などに対して同窓会から支援できるような制度を定めるべきである意見があった。

- ・たとえば海外大会への遠征費であれば、大学の国際会議への出張旅費規定を考慮して内規を定めるべき。

- ・支援対象(個人や団体など)や大会の規模など、どのようなものに支援するのかについて、公平に線引きできる必要がある。